

生きものモニター通信 vol.5

世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課

2019年10月発行

本年度も「生きものを呼ぶちょこっと空間づくり講習会」を実施しました。

「ちょこっと空間づくり講習会」も今年で3年目となり、本年度は三軒茶屋と経堂で実施しました。

世田谷区は23区の中でも、国分寺崖線や多摩川など自然に恵まれています。近年の宅地開発や農地の転用などにより、自然環境やさまざまな生きものの減少が危惧されています。

そこで本講習会は、自宅の庭やベランダなどちょっとした空間でできる、生きものを呼ぶ「ちょこっと空間づくり」を紹介しています。

そのちょっとした空間があることで、近くの公園や緑道、花壇、神社やお寺などのみどりがつながり、鳥や虫たちはそこを自由に行き来することができるようになります。その様子をモニターの皆さんから報告いただき、ニュースレターにまとめ広く発信していきます。今年もビオトープガーデンでおなじみの泉健司氏を講師として迎え、「ビオトープについて」や「水鉢を使ったちょこっと空間づくりについて」を教えてくださいました。

6/28講習会

三茶しゃれなあどホール

夏に向かって涼しげで
楽しげが増えます。



何を呼びたいか
(鳥・チョウ・トンボ etc)で
花・植物を選ぶ、
今までそういう選択を
していなかったです。

トンボを庭に呼ぶのは
難しいと思っていたが、
チョウやハチと
同じレベルで来てくれる
ような気がしてきた。

呼びたい生物により
植物の選び方で色々な
構成が出来るところが
興味深かったです。

植物の性質について教えていただき、
楽しかったです。
早速ビオトープを作ってみて
成長を見守っていききたいと思います。

泉先生のお話よく分かりますし、
自然を大切にしていることも
伝わります。
嬉しい講義でした。

大切に育てて
いきたいと思います。

意外に手軽に作れそうで
安心しました。

アンケート紹介

抜粋



この講習を
仲間に
知らせたい。

トンボが来る
という話が
意外だった。



実際にビオトープの
作り方の説明が
よく分かりました。

ビオトープで庭造りは
大がかりで難しい
イメージでしたが
継続可能で手軽に楽しめる
自信になりました。

東京でベランダで
生きものを呼べる場所が
作れるのは
とても楽しみです。

親子で参加しました。
親子にも自然環境を
大切にする心を
はぐくんでいて
欲しいです。

7/6講習会

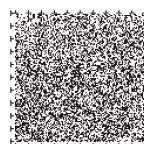
経堂南地区会館

植物によって
呼べる生きものを
選べるなんて
驚きでした。

普段目にする
よくいる生きものが
絶滅危惧種を支えている
という言葉が
印象的でした。

自己流でなく
基本を学べて
よかった。

「ありふれた種を守る」ことが
生態系全体を守るにつながるという
お話が印象に残りました。
力を抜いてちょこっと空間づくりに
臨めそうです。



2019年度モニターの皆さんからのご報告



今夏もたくさんの報告が寄せられました。講習会で学んだ知識を生かし、みなさん試行錯誤しながら、オリジナルな水鉢を作りあげてくださっているようです。本年度挑戦された方、2年目、3年目と工夫を重ねているみなさん、それぞれまとめてみました！

1年目の挑戦

水鉢は車庫に置き、常に日陰であるせいか、買

い足したホテイアオイが枯れてしまいました。青々と育っている過去のモニターさん達はどのような工夫をしていたのでしょうか？メダカがついに1匹になってしまい、心配しております。生きものを育てる難しさや、儚い気持ちを体験しながら、子どもと一緒に水鉢と向き合っています。

MONITOR
マコトさん



長年放置していたアクアペットストーンを混ぜて使ったのですが、メダカが2週間で全滅してしまいました。何年もの日にさらされていても、水をいれたら、石の中にひそんでいた生きものが活動を始めたのだと思います。ビオトープ用ミソハギとミニホテイを他に入れたのですが、ミソハギは水換えのため出しておいたら、猛暑で1日で枯れてしまいました。濁った水でも、ミニホテイアオイは元気に増えています。換えても、水がすぐに濁ってしまうので、タニシを用意しなくてはと思っています。

MONITOR
凹んでいますさん



メダカの卵を入れておいたところ、孵って1cm程に成長した子メダカが数匹泳いでいます。スイレンに付いてきたのか、マキガイとウキクサが増えすぎてしまいます。まだ生きものは遊びに来ていません(本当は大きな毛虫が来ましたが追ひ払いました)。シジウカラに来て欲しいです。

MONITOR
柄長ダン子さん

MONITOR
はんしょうづるさん

桜の枝で仕切りを作り、トンボを呼びたいと一枝少し高めに設置しました。置き場所はソバの種を蒔いた花壇の近く。メダカは、現在1匹のみ。ある日ホテイソウが齧られて水槽の外に出ていた。小動物の仕業でしょうか？



タニシの
＼赤ちゃんが沢山！／

メダカは、2週間足らずで、死んでしまいました(泣)。購入したタニシ5匹だけは順調に育ち、あっという間に赤ちゃんが産まれて、今では20匹以上になっています。猛暑のため水を毎日足していますが、もう少し涼しくなったら、またメダカの飼育に再チャレンジしたいと思っています。秋になると、トンボでも来てくれるかな？と期待しています。

MONITOR
せたがやひろひろさん

MONITOR
Takuさん

ベランダに置いているので水質管理にとっても気を付けています。日中はすのこを半分かけて藻が生えすぎないようにし、雨で水鉢がいっぱいになり、メダカが流されないように排水栓にネットを取り付けました。…が残念ながら今は3匹しか残っておりません。最初に水草を入れ過ぎてしまった為、間引きしていたら、根っこに変な生きものが・・・画像検索してみると「ヤゴ」でした。元気に成長して巣立って欲しいので、これからもお世話を頑張ります。



ヤゴが育っていると
嬉しい報告が！



砂、伊勢サビを水鉢にしき、シラサギカヤツリソウ、ハンゲショウ、ツククサ、ホテイソウ、ヒメスイレンを入れました。買った仕切りは水中で腐る恐れありで止めました。ヒメダカは1匹死んで4匹いれました。庭の木の下に置いたのですが、雨が多く、溢れないように何度も水を捨てました。メダカは元気に泳ぎ、一緒にいれた2匹のタニシが5匹になりました。8月に暑くなり、庭の木に鳥は来ても水浴びは見られませんでした。4日にクロアゲハが水鉢の草にとまっていました。

MONITOR
はなはなさん



MONITOR
なでしこさん

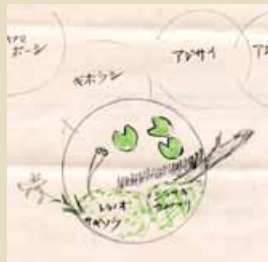
メダカは何が原因か、たった1匹しか残っていませんが元気に泳いでいます。スイレンは枯れて花は咲きませんでした。今は新芽が出て綺麗です。池の中も水草がしげって、水中も暗く、大分汚れた感じです。

MONITOR
カワセミさん

葉が1枚黒いホテイアオイを花屋さんで見つけ、ビオトープ作り。しかし、都心30度越えのせいかヒメダカが次々に死んでしまった。ヒメスイレンはつぼみがついていたのになかなか咲かず、腐ってしまった。茎が折れていたからか！？

居間から見られる、ギボウシやアジサイのそばへ鉢を置きました。仕切り作りはヨシズを切って砂利と大きめの石を入れてみました。ヒメダカは1匹のみ生存中です(元気です)。昨日「オニヤンマ」を確認。アツという間に飛び去り残念！！

MONITOR
ペパーミントさん



MONITOR
ぷんちゃんさん

現在、ヒメダカが卵を産んで10匹近くの赤ちゃんが元気よく泳いでます。ヒメスイレンにくっついてた極小のタニシも1cm程に成長して藻を食べてくれています。ヒメスイレンは元気に葉を増やしています。初めは2〜3個しかなかった丸い浮き草もびっしりと水面を覆うほどに増えました。水鉢周辺で見られた生きものはシジミチョウ、アゲハチョウ、トカゲ、バッタ、トンボ、カメムシ、ナミテントウ、オナガ、シジウカラなど。

MONITOR
Kinさん

伊勢さびがいまだに調達できず、ビオトープの形になっていない。メダカが1匹になってしまった。メジロ、ヒヨドリ、スズメなどが庭にいつも来ているので食べちゃったのかも！？バケツなどにいたボウフラを入れたら、すごい勢いで食べるくる。タニシはつがいに入れていたが、大きくなってきている。



MONITOR
げーしーさん

強い日差しをさけ、木陰に移動させると、底に隠れていたメダカが水面近くで泳ぐようになりました。トンボとヤゴの足場を以前よりしっかりした枝に差し替えました。雨で水位が上がるのでメダカが飛び出ないよう縁から水をかい出しています。枝とスイレンの葉が1枚抜かれて移動していました。カラスのイタズラでは？スイレンの苗についていた藻がかなり増えました。水鉢に入れた水道水が数日も澄みきったままでメダカが飢えないか心配だったので、手水鉢に溜まって澱んだ雨水を混ぜてみました。その水に含まれていた小さな動植物が繁殖したからかどうかはわかりませんが数日で表面に緑色の藻が目立ってきて、水にも少し色が付いてきました。



水鉢の中に
体長1cmの巻貝が！？
スイレン苗の中に
隠れていた？



水鉢にはヒメスイレンの他に、シラサギカヤツリグサ、マツモ、ウォーターバコパを足しました。サクラの枝で仕切りをつくり、石や鉢のかけらを入れて、高さ調整し、イセサビはネットで注文しました。梅雨時は水があふれないか、盛暑は水温が気になりました。ヒメダカが死んだ際は、勉強不足を感じました。最近、ベランダに訪れる生きものを見るのが更に楽しみです。クロアゲハ、アゲハチョウ、ルリタテハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、シオカラトンボ、カナブン、スズメ、カマキリ、オンブバッタ・・・。東京でもこれだけ会えるのは嬉しいですね。

MONITOR
きんちゃんさん



MONITOR
大泉さん

4階のベランダですが、イトトンボが来たのを確認しました。サカマキガイが20匹以上に！！スイレンかホテイアオイについてきたものです。サンショウモも鉢の半分位になるまでに増えました。日よけにした鉢植えのツバキの木にカタツムリがいました。「趣味の園芸」を買って求め、ビオトープについて勉強中です。メダカは全滅しましたが、涼しくなったらまた飼育します。

MONITOR
ヨッさん



最初はベランダに置いて育て、周りの環境などを見ながら、8月になり現在の場所に置きました。樹木や花壇もありテーブルや椅子、ベンチもありますので皆さんにも見ていただきたいと思います。

MONITOR
りさぴさん

ベランダに置きました。スイレンは枯れてメダカは亡くなりました。





ケガでかまえなかったのに、この夏スイレンが葉を次々に出してくれて感激しました！冬の間にいーっと耐えて頑張っていたんですね。いただいた5匹のメダカはいないのですが、子孫が1匹元気になっています。他にも今年生まれた小さい黒メダカの子が100匹位泳いでいます。いただいた石のおかげで水もあり汚れません。大雨が降ろうが台風や嵐になろうが鉢が大きいので水があふれる心配もなく安心です。スイレンが来年もその先も葉を出してくれたら大変嬉しいですが、時々水にクモの抜け殻？が浮いています。夏の水風景は眺めていて楽しいですね。



昨年、ペランダが暑すぎてメダカは早々に全滅。加えてマンションの大規模修繕のため室内に取り込んだ水草も枯れ、さんざんな結果でした。しかし、今年はたくさん日を浴びて、水草が復活しました。真ん中に立っているのは割りばしで、トンボの羽化用です。トンボ、アゲハチョウ、セミ、テントウムシ、ガが立ち寄ります。マンションの5階のペランダですが、常に生きものが立ち寄ってくれるようになってます。嬉しいですね。

梅雨の頃まではスイレンの葉がたくさんあったのですが、暑すぎたのか、葉が枯れはじめ、少なくなっていました。今年はトンボもアゲハも見ることがなく、淋しく感じましたがヒキガエルが2匹近くにいたのを発見！スズメもとまっていたので昆虫は残念な結果でしたが生きものは呼べているようです。陽が強く当たりすぎたのか藻が発生したことがあったので、水を替えて半日陰になる時間が長くなるように場所を少しずらしてみました。秋に向かい、虫がもどってくれることを期待しています。

世田谷70さん



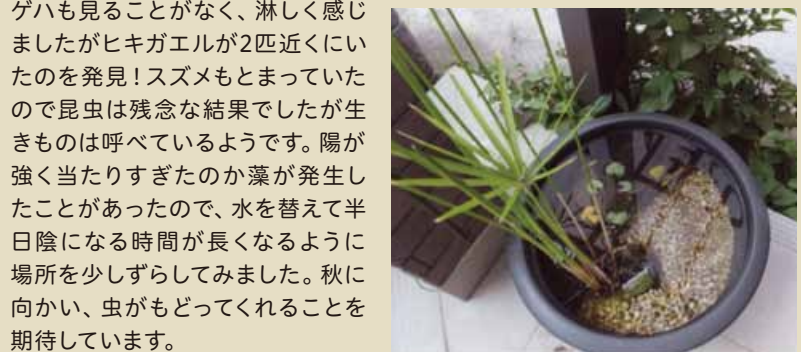
玄関の入り口で、南北に風が抜け、午後に日が当たる軒下において2年目になります。先月、藻がひどく大掃除したところです。ベニチガヤ、シラサギカヤツリソウは元気ですが、フウチソウはダメでした。花の咲かないスイレンの葉だけ増えてます。新たに買ったメダカに付いてきたウキクサ1株がどんどん増えています。今年の夏は暑すぎで、虫もほとんど見ず寂しいです。近くの駒沢公園でも虫探しの子どもたちが苦労しています。



水鉢は庭に置いています。頂いた資材の他には、ホテイアオイ位しか入れていません。冬は寒いので、鉢の周りを段ボールで囲みましたし、今夏は、そのダンボールを使って陽よけを作りました。たまにハチやカマキリが来るくらいです。カマキリは水草の上で、ヒメダカを狙っているようです。ヒメダカはすぐ死んでしまうので、何度も買っていますが、元気に泳いでいるのを見るのが楽しみです、癒されます。



梅雨の頃まではスイレンの葉がたくさんあったのですが、暑すぎたのか、葉が枯れはじめ、少なくなっていました。今年はトンボもアゲハも見ることがなく、淋しく感じましたがヒキガエルが2匹近くにいたのを発見！スズメもとまっていたので昆虫は残念な結果でしたが生きものは呼べているようです。陽が強く当たりすぎたのか藻が発生したことがあったので、水を替えて半日陰になる時間が長くなるように場所を少しずらしてみました。秋に向かい、虫がもどくれることを期待しています。



シナモンさん

ベネチャルバードさん

黒いプラスチックの水鉢は、簾をかけたり日陰に置いたりしても、夏の高温を吸収して水を温めてしまうようです。去年の夏は、残念ながらメダカが弱って全滅してしまいました。そこで新しく10月に5匹のメダカを迎えて、秋から春にかけてとても元気に泳いでいました。今年はこまめに新しい水を足して水温に気を付けましたが、5匹中3匹が死んでしまいました。何とか2匹は元気に泳いでいます。スイレンは、冬を越して春先はどんどん葉の数を増やしていましたが、タニシが小さい葉を食べてしまうようで、夏になってから葉が減って勢いなくなっていました。ホテイアオイは冬を越しました。ただ、夏になってタニシが増えてしまい、元気がありません。毎日楽しみに水鉢を覗くのが日課になっています。



手前右側に写っているのは、夏の強烈な陽射しを避けるためのフウセンカズラとアサガオのグリーンカーテンの一部です。去年はヒメスイレンの花芽のない苗を頂いたのですが、7月下旬に白と黄色の花が咲き、目を楽しませてくれました。今年も新しい葉は何枚も出てきましたが、残念ながら未だ花は咲いていません。ホテイアオイの繁殖力に負けずに、花が咲くよう期待しています。

2年目ですが、メダカは生き続けてくれず、その度に買い泳がせて今は3匹遊々と泳いでいます。水草、藻だけでは痩せ細ってしまいましたので餌を1日1回早朝にあげると、そこそこふっくらしてきました。ランタナを植木鉢に。今年なんとモンシロチョウがやってきてくれました。自然と共に生きる喜びを知り、日々暮らしております。

花音さん



苔子さん

鉢の一部は覆わず、ハトの水浴びやトンボの産卵に、「ビオトープここにあるよ～」とアピールしました。メダカに、蚊の亡骸をあげたら、ピラニアみたいに大喜び。シバエビの背わたも食べてくれました。メダカの口が奢り、市販の餌がイマイチに思えてしまうかもしれません。

講習会のお話をふまえて色々工夫し、暑いときは植木鉢で日陰を作ったりと毎日気にかけています。この春先冬の汚れを取りながら水中をのぞくとタニシと小さな赤ちゃんタニシが何個か水鉢の内側に健在、ヒメスイレンも芽が出てきていて、俄然やる気が出てきました。4月にメダカもはなしました。6月のある朝水鉢の中がぐちゃぐちゃになっているのに気づきました。メダカが2匹に。ネコあるいはキジバトか？ハトが水を飲んでるのは数回確認しています。2度目は7月朝。タニシが見当たらなくなりました。水鉢の内側に今は藻が発生しています。

世田谷育ちさん

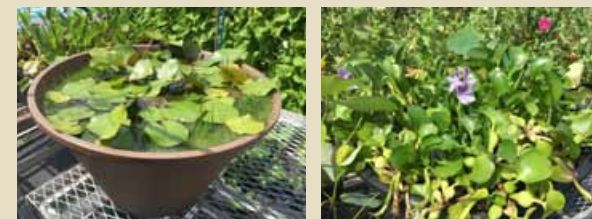
が見られず、今年はスイレンの開花を期待して1本に絞りました。1輪花を見ることができました。庭の手水鉢には小鳥の他ネコやカラスまで水飲みに現れます。来年はもう一度ビオトープ、トライ出来たらと思います。



金魚ねぶたさん

ビオトープとしては、小鳥や虫などのお客さまがほとんど来てくれず少し寂しいのですが藻が増えてメダカがどんどん卵を産んでいます。放っておくと親が卵を食べてしまうので卵を別容器に移すようにしたら、次々に子メダカが生まれて大繁殖中。擦り餌を作ったり手がかかりますがとても可愛いです。

フラワーランドの水鉢もスクスク育っています。



水鉢の管理方法にお悩みの方は瀬田農業公園（フラワーランド）園芸相談をご利用ください。

毎日（年末年始を除く）午前10:00～午後4:00 世田谷区瀬田5-30-1 TEL 03-3707-7881（電話相談も可能です）

※都合により園芸相談員が不在場合があります。来訪の場合は、電話にて事前にご確認ください。



MONITOR Mさん
パピルス、ヒメシラサギカヤツリ、ヒメスイレン、ミズトクサなどを使っています。水鉢の中にはメダカ、タニシ、水草に付いてきたミズムシなどがいます。水温が上昇しにくい場所に設えたので、生きものからは見つけにくいかもしれませんが、水鉢を置く事で植物の種類が多様化し、それによって集まる虫なども増えたと感じます。

MONITOR フッカさん

水鉢を設置してから今年で3年目になります。2階のベランダと玄関脇に水鉢を置っていますが、夏は高温のため、ボウフラを食してくれるメダカが死んでしまいます。玄関脇の水鉢近くに色々な植物を置いているので、そちらにはアゲハチョウやオンブバッタ、カマキリなどが来ています。しかし今年は、残念ながら水鉢によってくるような生きものには、あっていません。



MONITOR おじさん

5月頃から、ほぼ毎日、カラスが来ていました。カアカアと鳴いてから、朝は少し水を飲んでから洗顔し、昼時は豪快にバサバサと水浴びしているのを見るのが楽しみでした。でも、7月から隣で工事が始まると来なくなり、すっかり寂しくなりました。不思議なのは、メダカたちが、カラスに食べられたり、水しぶきと一緒に飛んでいくこともなく無事なことです。ここ1年半ほど特に掃除をしていません。長らく藻で覆われていましたが、先日、中の流木を取り出して洗って戻しただけで、意外ときれいになりました。ヒメタニシが増えているのも見えます。代わりに、メダカの食べ物が見えなくなっているように見えるので、1日1回やるかどうかだった餌やりを朝夕の2回にしています。

MONITOR ほけきよさん

MONITOR ryukopineさん



今年は、パチンした蚊を水鉢にいれたら、メダカは見つけるやいなや一口で食べました。他の小さな虫(羽根つき)もいれたのですが、蚊の方が好物のようです。

MONITOR Udonkoさん

水の浄化、メダカの産卵を促す為ホテイアオイ、マツモを入れた。晩夏には水面を覆い尽くす程であったが、ホテイアオイが秋から腐りはじめ、それが水を腐らせ、メダカが全滅してしまった(稚魚を分散させていたので、そちらは現存)。ホテイアオイは寒さに弱く、屋外に置く場合、秋には捨てるべきと勉強しました。また水草も何種類か入れてみたが、水深によって適・不適があり難しい。夏の水温の上昇、藻の繁殖による水質の悪化に手を焼いています。水辺があるだけで庭が豊かに感じられ涼しさも呼んでいる。ヤゴが育って欲しい。いただいたスイレンはまだ咲きません。

今年は、小鳥、キジバトやハチなどが頻回に水飲みにやってきたり、水浴びをしていました。現在、メダカは大人6匹、子供2匹です。去年のホテイアオイ6株は全部枯れたので、新しく3株入れましたが、新しく生まれたのは2匹だけです。しかし、水鉢の4分の1の隙間から、枯れてしまったと思っていたスイレンの葉が顔を出しました。周りには、木や草花が生い茂り、蚊がすぐにやってきます。今年は、パチンした蚊を水鉢にいれたら、メダカは見つけるやいなや一口で食べました。他の小さな虫(羽根つき)もいれたのですが、蚊の方が好物のようです。



「生きものが遊びにきました」報告もたくさんいただきました。水鉢だけでなくその周辺にもさまざまな生きものが遊びに来てくれているようです。



ryukopineさん：ハチが寄ってきました！

ryukopineさん：家の中からハトを発見。

凹んでいますさん：ヒキガエルを見つけました。シオカラトンボが飛んできました。カマキリはちらほら。バッタが大発生。

げーしーさん：毎日、スズメ・シジュウカラ・メジロ・ムクドリなどが水浴びに来ます。

みどりきみどりさん：羽化が終わって、休憩しているところ。

ぶんちんさん：2匹のチョウが戯れています。

Kinさん：ムカゴの茎にいたイモムシ。11cm!!

ぶんちんさん：バッタの抜け殻。

はんしょうづるさん：ヤマトシジミやツマグロヒヨウモン・トンボが飛んでいました。セミやバッタ、カナブン、トカゲも見えました。

はんしょうづるさん

これは何の蛾ですか？

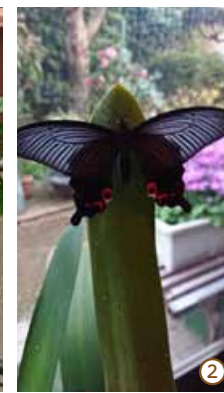


ヤマムコガ科の蛾で、オオミズアオです！羽を広げた大きさが10cmほどもある大きな蛾です。



泉講師より

今回の報告はアゲハチョウの産卵のレポートが沢山寄せられました！！



①みどりきみどりさん：水鉢の隣にあるレモンの木に卵を産みに来ていました。
②イマツさん：クロアゲハ。触っても飛び立たない！？
③イマツさん：クロアゲハの幼虫かしら？と眺めているそう。



チョウは花の蜜や産卵場所をさがしながら、飛んでいます。チョウの行動範囲は思いのほか広く活動的なので、マンションの上層階でもベランダにプランターやハンギングバスケットをつるしておくと、花を目指してやってきます。泉先生からお話が合った通り、チョウの幼虫が食べる植物は種類によって決まっていますから、そこにミカンの仲間があるとアゲハの仲間がやってくるのですね。クロアゲハの成虫は春から初秋に見られ、これからの季節はサナギで越冬します。

2017年度モニターの岡さんがご自身のお庭にきたアゲハチョウの産卵からサナギになるまでのレポートを寄せてくださいました！

アゲハチョウと柑橘類にまつわるお話です。

庭にユズの木(約70cm)があります。キアゲハ、クロアゲハは毎年、柑橘類の木の葉の裏に卵を産んでいきます。それもユズの木の新芽が出るころ。幼虫は新芽を食べて、5mm～1cm、2cmとぐんぐん成長します。その頃、ハチの餌食になることが多い。生き残って4cm位になると、外敵に対して、2本の黄色いツノを出したり、匂いを出して身を守る。やがて木からはなれた所でサナギになります。今年は現在2回目の小さな幼虫(4匹)が成長中です。水鉢にはヒメダカが約8匹元気でいますよ。



我が家のちょこっと生きもの空間！

泉講師からのコメント



今年も常軌を逸した高温続きの夏で、メダカにとっては災難だったようです。素焼きの鉢だと、表面から水分が蒸発して水温上昇を抑えてくれますが、プラ鉢だと日除けをする程度しか対策がありません。そんな中で、皆さんのレポートを見ると案外ヨシズが手軽で効果的だったようですね。

野生のメダカが生きることができる水温は0℃近い低水温から上は35℃ぐらいまでです。何とか夏を生き延びたメダカには、これから冬の試練もやってきます。11月に入ったら、寒さをやり過ぎしやすいように隠れ家になる植木鉢などを沈めて、南側の日当たりの良い軒下のような霜を避けられそうな場所に移しておくとも良いかもしれません。世田谷区内では全面凍結の心配はないと思いますが用心のためホームセンターや園芸店などで麻袋や藁のむしろなどを購入してきてスイレン鉢の底からくるんでおくと、より安心です。

冬場の日だまりのスイレン鉢には、スズメやシジュウカラ、メジロやカワラヒワ、それにキジバトやムクドリたちが水飲み場として遊びに来てくれるかもしれません。

小さなスイレン鉢ほど、環境を安定させるのは難しいものですが、興味が深まったらもう一つ一回り大きな鉢を置いてみたり、周りにいろんな寄せ植えを置いて環境を多様化させてみるのも良いかもしれませんね。

泉 健司 ●植物生態コンサルタント

東京農業大学農学科副手を勤めた後、環境アセスメントをはじめとした各種植生調査などの仕事に従事。1996年ビオトープ・ガーデンを提唱。著書『小さなビオトープガーデン』、『親子で学ぶ身近な自然かんさつ』、共著『地球とつながる暮らしのデザイン』など。



ホームページ <http://www.biotopegarden.jp/>

泉先生への

Q & A



Q1

「白い庭砂利や、貝殻などは、石灰が出るとまずい」という意見を聞いたので入れています。大丈夫ならば入れたいと思いますので、教えてください。(Kinさんより)

A 普通に売られている白い庭砂利は石英や長石などを多く含むものが一般的で、特に袋などに明記されていなければ石灰石が多く含まれるものは出回っていないので使っても問題ないはずですが、また、貝殻も他の小石などと混ぜて使う分には問題ありません。

Q2

生きものを呼ぶ良い環境を作りたいのですが、暑い夏を乗り越える良い方法があるようでしたら教えてください。(フッカさんより)

A このお返事が届く頃には本格的な暑さが過ぎてしまっているとは思いますが、ペラダなどの直射日光を避ける目的であれば日よけになる低木で木陰を作ったりするのが効果的と思われます。野鳥も喜びそうな果樹類や昆虫の蜜源になりそうな花を咲かせる花木類を選ぶと楽しみも増すと思います。また、素焼きのスイレン鉢を購入していただければ、表面から水が蒸発することで気化熱を奪い、鉢内の温度上昇を効果的に抑えることができます。



SETAGAYA みどり政策課より

今年は雨期が長く猛暑日も続き、水鉢管理に気を使うことも多かったかと思います。みどり政策課の3年目を迎えた水鉢は、根気よく見守った甲斐があり、初めてスイレンが咲きました。皆さんにも良いことがあるといいですね。

編集後記

今年も沢山のお声を寄せていただき、ありがとうございました。年数を重ねるにつれて、ご自身のオリジナルな「生きもの空間」を作り上げているようですね。

次回が水鉢を使っている「生きものを呼ぶちょこっと空間」の最後のモニター通信となります。

ぜひ、たくさんの報告をお待ちしています。

次回の報告の締切は11月15日(金)です。

